## 人球観地協公告第2号 公募型プロポーザル方式による提案に関する質問への回答書

## 令和3年4月22日

## 人吉球磨観光地域づくり協議会 会長 松岡 隼人

プロポーザル名称		人吉球磨地域デジタル観光マーケティング体制構築 業務委託に係る業者選定公募型プロポーザル	
NO	質問	事項	左記に対する回答
1	前年度までの実態	調査のデータも対象	当協議会の観光地域づくり戦略の 推進期間を2019年度から20 24年度としていることから、本 年度の調査と過去データを併せて 比較検討できるものを考えていま す。
2			今回の委託金額に含めていただき ますようお願いします。
3	本地域内の住民を ケート及び観光庁 関連統計調査とあ ンケートなどを通	対象とした調査アン や熊本県が実施する りますが、現状、ア	昨年度は当協議会ホームページや SNSにアンケートへのリンク掲載を 行っております。データ保存先は 当協議会の所有するハードディス クにて保管しています。
4	本協議会が保有す の調査コンテンツ を図るとあります 調査コンテンツ(	るホームページ等へ	
5	NO 4 (上記) の質 を受託者側で改修 ページなどのソー	ータ収集体制の構築 問に付随し、サイト する場合、ホーム スコード、言語など けますか?仕様書な すか?	

6	(1)継続的なデータ収集体制の構築本地域内の住民を対象とした調査アンケート及び観光庁や熊本県が実施する関連統計調査のデ汐査□化も併せて提案すること。アンケート内容は昨年度と同様になりますか?またアンケート実施数や種類が年度ごとに変わるかを実施目的と併せて教えてください。	アンケート内容は昨年度のものを示しておりますが、専門的な視てを加え、より良いものを構築しいきたいと考えております。また、当協議会は観光庁登録DM O法人を目指しており、その認定を受けるため事業計画によります。来年度は事業計画により増減があります。
7	(2) デジタルやICTを活用した実態調査の実施 観光客を対象としたアンケート回答の依頼協力について、旅館や観光施設、交通機関などに対応いただくことは可能でしょうか?その場合の交渉は地域づくり協議会経由で行っていただけるのでしょうか?	本業務実施には各施設の協力が必要となりますので、当協議会からのサポートもございますが、調査実施にあたっては受託者側で行っていただきます。
8	(2) デジタルやICTを活用した実態調査の実施本協議会が比較検討する際に必要とするサンプル数確保、昨年度の回答数を教えてください。また最低回収目標など、具体的な数値はありますか?目安となる数値があればご教示ください。	昨年度は新型コロナウイルス感染 症および令和2年7月豪雨災害もあ り参考値になります。人吉球磨観 光満足度調査:32件 郡市民意識 調査:365件 誇りと愛着調査: 1127件 (2019年度調査実績にな りますが、人吉球磨観光満足度調 査:1122件 郡市民意識調査:439 件 誇りと愛着調査:1111件)
9	(2) デジタルやICTを活用した実態調査の実施調査協力者向けインセンティブ施策について、インセンティブとして物品を支給する場合、予算に含まれますか?また、インセンティブとして交通費の支給などでも予算に含むことは可能ですか?	
10	(4)人材育成を通した地域内製化の支援 育成の対象イメージを教えてください。人吉球磨観光地域づくり協議会のメンバーに向けたセミナーと考えてよろしいでしょうか?	
11	(5) 本協議会による収益化と自走化を目指すロードマップの作成本協議会による収益化とは、協議会自体が収益をあげることですか?それとも、地域の観光事業者が収益力を増すということでしょうか?	当協議会は観光庁登録DMO法人となり自走することを目指しております。運営資金確保のため協議会自体の収益を上げていきたいと考えております。

(5) 本協議会による収益化と自走化 を目指すロードマップの作成 事業自体はロードマップに沿って5年 間継続するという理解になりますか?	収益化のために作成されたロードマップを基に事業を進めていきますが、PDCAを運用しながらになりますので、変更が加えられる場合があります。
---	--